

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	演劇史3
科目基礎情報				
開設学科	演劇スタッフ科	コース名		開設期 前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時限数 15時限
単位数	1単位			授業形態 講義
教科書/教材	毎回資料を配布する。副読として『桜の園・三人姉妹』（新潮文庫）を使用する。			
担当教員情報				
担当教員	宮下 明日香	実務経験の有無・職種	有・演劇制作	
学習目的				
1年次で学んだ東西の演劇史を踏まえ、近代古典から現代へと変革していく演劇の流れを理解していく。1年次と同様アカデミックに演劇を理解することによりプラクティカルに活用できることを目的とする。				
到達目標				
西洋演劇では17世紀のフランス古典劇から近代古典、現代へと時代を追いながら、戯曲の構成や思想を考察していく。チャーホフやブレヒト、ベケットなどを扱っていく。日本の演劇では大正時代の新劇以外の芸能から新劇以降のアンガラ、小劇場ブームの流れを習得していく。またミュージカルの歴史もブロードウェイとウエストエンドを比較しながら解釈していく。				
教育方法等				
授業概要	各時代の東と西の演劇を学ぶ中で、授業で扱う作品のDVD鑑賞を取り入れていく。学術的に学びながら、実践的に活用できるよう言及していく。			
注意点	この授業は、各作品を読みながら授業を展開していくため、授業で扱う作品を事前に読んでおくことが望ましい。私語、居眠りを禁止とする。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。			
評価方法	種別	割合	備考	
	試験	50%	基本的な授業を理解しているかによって評価する。	
	課題	25%	定期的に提出するレポートの内容によって評価する。	
	授業態度	25%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。	
授業計画（1回～15回）				
回	授業内容	各回の到達目標		
1回	イントロダクション	西洋演劇の復習		
2回	フランス古典劇	モリエールとその作品の分析		
3回	近代演劇の成立	近代演劇の特徴とその分析		
4回	イプセン	『人形の家』の読みと分析		
5回	チャーホフ（1）	チャーホフの人物像とその時代考察		
6回	チャーホフ（2）	『三人姉妹』の読みと分析		
7回	チャーホフ（3）	『桜の園』の読みと分析		
8回	ブレヒト（1）	ブレヒトの人物像とその時代考察		
9回	ブレヒト（2）	『三文オペラ』の読みと分析		
10回	不条理演劇（1）	不条理演劇とは		
11回	不条理演劇（2）	ベケットの作品の特徴と『ゴドーを待ちながら』の読みと分析		
12回	不条理演劇（3）	ピンターの作品の特徴と分析		
13回	アメリカの戦後演劇（1）	1930～40年代のアメリカ演劇劇		
14回	アメリカの戦後演劇（2）	1950年代のアメリカ演劇		
15回	まとめ	総括と学習到達度の確認		